

チャペル週報

No.28

2014.1.6～1.17

目をまっすぐ前に注げ。
あなたに対してのものに
まなざしを正しく向けよ。

(箴言4：25)



西宮上ヶ原キャンパス ランパス記念礼拝堂

関西学院宗教センター

☆チャペル・スケジュール☆

時間 10:35～11:05 場所 各学部チャペル

1月6日(月) 神 〈説教学演習B〉小 西 清 信 (神学研究科M1)
經 English Music Chapel Timothy Dale Boyle (宣教師)
人 牧 里 毎 治 (人間福祉学部長)
聖和 「教育学部で学んで」新井 麻央(教4) 岡本 実樹(教4) 宮本 知佳(教4)

1月7日(火) 院 樋 口 進 (宗教センター宗教主事)
神 土 井 健 司 (神学部教授)
文 Andreas Rusterholz (宗教主事)
社 年度末にあたって 萩 野 昌 弘 (社会学部長)
法 栗 林 輝 夫 (宗教主事)
經 経済と倫理 (最終回) 舟 木 讓 (宗教主事)
商 山 本 俊 正 (宗教主事)
国 伊 藤 正 一 (国際学部長)
聖和田 淵 結 (教育学部宗教主事)
総 録 田 康 男 (総合政策学部教授)

1月8日(水) 阪神・淡路大震災メモリアル・合同チャペル (西宮上ヶ原キャンパス)
ランパス記念礼拝堂 (西宮上ヶ原キャンパス)
聖和 樋 口 進 (宗教センター宗教主事)
理 前 川 裕 (宗教主事)
総 KSCY (Kobe Sanda Christian Youth)

1月9日(木) 神 〈レビ記連続メッセージ④〉水 野 隆 一 (神学部教授)
文 Andreas Rusterholz (宗教主事)
社 卒業生からのメッセージ 今井 悠介 (一般社団法人チャンス・フォー・チルドレン代表理事)
法 栗 林 輝 夫 (宗教主事)
經 卒業生を覚えて 利 光 強 (経済学部長)
商 海 道 ノブチカ (商学部長)
国 English Chapel Eun Ja Lee (宣教師)
聖和 「光を灯す場所」林 昌 利 (日本基督教団芦屋山手教会牧師)
総 村 瀬 義 史 (宗教主事)

1月10日(金) 神 「震災を覚えて」礼拝⑩ 神学部メガホンプロジェクト

1月16日(木) 聖和 震災を覚えて「いのちを見つめるーテゼの歌を用いた黙想と祈り」

1月17日(金) 聖和 「終わりと始まり」小 見 のぞみ (聖和短期大学宗教主事)

新年を迎えて

藤 原 康 洋

「イエス・キリストの登場から歴史は2000年ほどしか経っていない。まだまだ、伝道はこれからですよ」。

これは私が大変お世話になった牧師の言葉です。

40年以上前のこと。入学した中学部から自宅近くの教会を紹介されました。そこで出会ったのが若きM牧師です。中高生とごっくばらんに語らうM牧師に日曜学校で会うのが楽しみとなりました。

夏の千刈キャンプでは日曜学校修養会が行われました。その分級の中で、「生きるとはどういうこと?」、「信仰って一体何?」といった高校生からの直截な問いに対して丁寧に対応していた牧師の姿が印象的です。

それらの問いに出来合いの答えで私たちを満足させようとする牧師ではありませんでした。自らも一人の求道者として、忍耐強く同じ問いに向き合われたのです。

また、「キリスト教はややもすると世間の常識を軽視するが、それはいかがなものか」と、牧師は私たちに正しい言葉遣いや年長を敬うマナーをも教え諭しました。後年、クリスチャンホーム育ちではない私が洗礼を受けて以降は、私の両親に対する心配りを長い間いただいたものです。

その教えや配慮は、信仰による自由が人々を躓かせないように、とコリントの信徒に勧めた使徒パウロを思い出させます(1コリント8章)。究極的なものに生かされている確信があったからでしょう、究極手前のこの不完全な世界とそこに生きる私たちに、暖かく寛容な眼差しを注ぎ続けた牧師でした。

昨年に召されたM牧師は中学部の卒業生でもあります。この年頭に当たってはこんなことを言うのでしょうか、「関西学院が生まれてから125年しか経っていない。キリスト教主義教育は、まだまだこれからですよ」と。

(中学部副部長)

●阪神・淡路大震災記念合同チャペル（18周年）

と き：1月8日（水）10:35～11:05

ところ：ランバス記念礼拝堂（西宮上ヶ原キャンパス）

●夕べの祈り at ランバス ～テゼの音楽とともに～

ろうそくの光を灯して、テゼの歌を歌いながら、皆でこころ静かに過ごす夕べの祈りのひととき。どなたでもご参加ください。

と き：1月9日（木）18:30～20:00

ところ：ランバス記念礼拝堂（西宮上ヶ原キャンパス）

主 催：夕べの祈り準備会（学生有志）

協 力：関西学院宗教活動委員会

●チャペル・オルガニスト卒業演奏会

各学部チャペルをはじめ各種式典などでオルガン奏楽を務めるチャペル・オルガニストから今年、13名が関西学院大学を巣立ちます。それぞれの学生時代の思い出を胸に、これまでのレッスンと練習そしてチャペルでの経験すべてをこの日の演奏に託します。どうぞご来場いただき、学生時代最後の演奏に拍手をお願いいたします。

と き：3月1日（土）14:00～

ところ：ランバス記念礼拝堂（西宮上ヶ原キャンパス）

●CD・DVDライブラリー

吉岡記念館事務室宗教センターには、教会音楽、キリスト教に関するCDやDVDを備えています。本学学生及び教職員（学生証または身分証明書必要）であればどなたでも利用できますので、希望者は事務室までお越しください。

●使用済み切手収集にご協力ください

本学では日本キリスト教海外医療協力会（JOCS）切手部の活動に協力し、使用済み切手を収集しています。通常切手も対象としていますのでどうぞ吉岡記念館常設の回収箱にお届けください。

●盲導犬育成のためご協力をお願いします

関西学院宗教活動委員会は、目の不自由な方々の社会参加促進を願い、社会福祉法人「日本ライトハウス」の募金活動に協力しています。吉岡記念館事務室はじめ各学部カウンターに募金箱を用意しておりますので皆様の温かいご協力をお願いいたします。

今号が本年度「チャペル週報」の最終号です。2014年度は4月7日（月）号からの発行となります。新年度のチャペルや宗教センター、宗教活動委員会、吉岡記念館主催の催し物などのご案内をしてまいります。また瞑想欄では、教職員の方々によるメッセージやエッセイを掲載しますのでご期待ください。